

技術委員会の事業報告

1. 概要

1.1 技能検定試験

技術委員会はこれまで一貫して、ばね技能者向けの人材育成事業を軸に諸活動を実施しており、その中心となるのは金属ばね製造技能士の育成強化である。

年度毎に合格者数の目標を設定し、目標達成に向けて技能士試験合格支援教育を毎年実施している。平成20年度は296名(目標160名以上)の技能士が誕生し、初回の昭和60年度からの累計取得者数は、3,876名となった。

1.2 「日本のばねの歴史」編纂について

この歴史の本は発行から二十数年たち、内容的には残したいものの誤記等もあり見直しが必要で有るとの認識であった。本来は創立60周年記念事業として編纂したいとの意見もあったが時間的制約のため断念した。

改めて、ワーキンググループを設置し取り組むべきと考え役員会へ提案し、承認を得て総務、技術両委員会が参画し「ばねの歴史編纂ワーキンググループ」が発足した。

なお、現下の経済状況を鑑み発刊は平成23年3月をめどにする。

1.3 線ばね計算ソフトの検討

平成19年度にはBANEX をウインドウズ版に移植し会員へ頒布した。また、一部の会員会社では独自に設計計算ソフトを作っているが、工業会として権威のあるソフトをまとめて欲しいとの要望も強く、一般的な計算ソフトを研究することとした。

1.4 優良ばね製造技能者表彰制度の改定

ばね技能者の技能向上、意識高揚に答えられるよう一昨年度表彰制度の見直しを図った。

大きな変更は表彰を金賞、銀賞の2クラスにしたことと金属熱処理を金属ばね(線ばね、薄板ばね)製造と同等の資格に格上げしたことである。

平成20年度の表彰者数は40名(金賞12名 銀賞28名)、昭和60年度からの累計取得者は372名となった。

1.5 日本ばね学会への委託研究テーマ等

- 1) コイルばねの形状と特性におよぼす焼鈍条件の研究
- 2) 線によるばねの残留応力評価法について
- 3) FEM解析講習会について

ばね学会の協力を得て会員向けの講習会を3年ぶりに平成21年度中に開催するよう準備している。

2. 技術委員会等開催報告

会議	日時・開催場所	議案
第1回 技術委員会	平成20年7月29日 工業会会議室	<ol style="list-style-type: none"> 1. 標準化会議からアンケート要請について 2. 「日本のばねの歴史」編纂について 3. FEM講習会(仮称)について 4. 日本ばね学会との技術連絡会について 5. 品質管理検定について 6. ばねの設計プログラムの必要性について 7. ばねハンドブック増刷について 8. 各支部委員会実施状況報告
第1回 学会・工業会 技術連絡会	平成20年9月25日 工業会会議室	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前回議事録の確認 2. 学会委員会活動報告 3. 研究委託テーマの進捗状況報告 4. 工業会技術委員会活動報告 5. 標準化会議活動報告 6. 技能検定推進会議活動報告 7. 中小企業向けセミナー及び技術懇話会
第2回 技術委員会	平成20年10月7日 京都タワー	<ol style="list-style-type: none"> 1. 役員会概要報告 2. 技能検定推進会議概要報告 3. 学会・工業会技術連絡会報告 4. 「日本のばねの歴史」編纂WGについて 5. 規格開発アンケート調査WG活動報告 6. FEM講習会について 7. 各種講習会テキストの統一編纂の提案
第3回 技術委員会	平成21年3月17日 (書面審査)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成20年度支部技術委員会活動報告 2. 平成21年度活動方針案および事業計画案 3. 学会共催のFEM講習会について
第2回 学会・工業会 技術連絡会	平成21年3月19日 (書面審査)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学会研究委員会報告 2. 工業会標準化会議報告 3. 圧縮コイルばねの疲労限度線図について